

4. 新聞等に掲載された活動

○看護学専攻

氏名・職	活動題目	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と社会との関連
浦田秀子・教授	日本放射線看護学会設立および第1回の学術集会の開催、学会、シンポジウムの内容	朝日新聞, 陸奥新報, 東奥日報	2012年 9月30日	放射線看護の発展を図り、専門的な活動の質向上に寄与することを目的に学会が設立された。「放射線看護専門看護師の必要性和期待される役割」をテーマにシンポジウムが行われ、シンポジストとして教育の立場から大学院教育の現状と成果を発言した。
		文教ニュース	2012年 10月22日	
		文教速報	2012年 10月24日	
		週刊医学界新聞	2012年 11月19日	
花田裕子・教授	国際シンポジウム	西日本新聞	2012年 12月1日	虐待被害者の自立支援に関する国際シンポジウムの内容について掲載。
平野裕子・教授	看護師候補のインドネシア人	じゃかるた新聞	2012年 3月27日	経済連携協定に基づき来日した看護師らの動向について有識者としてコメントを行った。
平野裕子・教授	視点・論点	NHK	2012年 4月10日	経済連携協定に基づき来日した看護師らの受入れについての現状と課題について、有識者としてコメントを行った。
宮原春美・教授	障害児の性 どう教育	朝日新聞	2012年 2月19日	長崎大学医学部保健学科で障がい児・者の性教育を考えるセミナーを開催した。
宮原春美・教授	障害児の性 当然のこと	朝日新聞	2012年 3月26日	専門家と保護者のネットワークを作るため、長崎“障がい児・者の性を考える”教育研究会を立ち上げて活動している。
山口智美・助教	人、家族、地域を繋ぐ 文化に根差した看護	MONTREAL BULLETIN	2012年 9月29日	看護学のパラダイムとカナダという地の利と文化を映すオタワ憲章にみられるヘルスプロモーション概念との共通点や、コンテキストと切り離さずに包括的に対象を捉える看護職が人(個)、家族、地域を繋ぐ役割を果たしていることを事例を挙げて述べたもの。

○理学療法学専攻

氏名・職	活動題目	掲載紙誌等	掲載年月日	活動内容の概要と社会との関連
千住秀明・教授	呼吸リハビリテーション	朝日新聞	平成24年 7月8日	呼吸リハビリテーションの普及と啓蒙
千住秀明・教授	COPD対策委員会	NHK総合	平成24年 9月13日	COPDの早期発見と早期治療のためのシステム作り
千住秀明・教授	肺の病気 COPDを防げ	NHK総合	平成24年 9月27日	COPDの早期発見と早期治療のためのシステム作り